

「日本介護福祉士会創立 30 周年に寄せて」

日本介護福祉学会 第 10 期会長

加瀬裕子



日本介護福祉士会の皆様 設立 30 周年おめでとうございます。

私どもの日本介護福祉学会は、1993 年、みなさまの介護福祉士会ができる 1 年前に設立されました。当時は、戦後 50 年間にわたって改正されなかった社会福祉関連 8 法が改正され、在宅介護が老人福祉法に明記された時代でした。老人保健福祉計画もこの時代から行政の責務となりました。その後、2000 年に介護保険法が実施され、介護福祉士の活躍の場はひろがりました。

現在、日本の少子化の影響を受けて、在宅介護は困難な時代を迎えています。新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行しても、従事者の離職等の影響によりホームヘルパーを派遣してくれる事業所を見つけられない、という利用者からの訴えが私どもの学会にまで届いております。家族介護をささえる家族は高齢化し、外国人や IT による介護も増大すると思われまます。利用者の尊厳を守り、多様な介護福祉実践をまとめていく存在として、日本介護福祉士会の役割は益々重大です。

私どもの学会は、3 年前に日本介護福祉士会と連携協定を結び、研究や研修を共同で行ってまいりました。及川会長をはじめ、素晴らしい介護福祉実践をされていることを知り、心強く思っております。皆様の優れた実践を社会に向かって発信し、介護福祉士の評価を高めたいと思っております。

日本介護福祉士会の益々のご発展を心からお祈りします。